

# 高退協ニュース

No. 202  
2016年  
9月6日

発行 協退局  
高知事務

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会  
高知市丸の内2丁目1番10号  
高知城ホール高教組交付  
連絡先 Tel. 088-822-6822  
郵便振替口座 〇二六五〇二二二八九三

## 2016高退協夏季学習会

### 講演テーマ「核被災国・日本で生きる～足元から平和と暮らしを見つめて～」

講師 山下正寿氏

橋元陽一



夏季学習会

講師の語に聞き入る

軽視する見解を表明してきた原子力ムラとそれを支え続けてきている731部隊に所属した科学者や医師たちの系譜を暴露した。このことは8.15戦争を語り継ぐ集いで、731部隊に所属した医師たちが戦後の日本政府の放射線研究・原発推進の中心にいたことを告発した岡村啓佐氏の指摘と重なってくると一詳細は高退協ニュースの山下氏の連載を参照してください。



2016高退協夏季学習会 講演する山下正寿さん

二つ目の小テーマは「伊方原発と海洋汚染」で、国民のいのちを二の次にした原発再稼働ありきの政府と四国電力の姿勢を追及しました。瀬戸内海の西



夏季学習会後の懇親会で歓談

一步進め、若い世代と一緒に歩み続けてほしいと。参加者からビキニ事件に関する質問や長年の調査活動に敬意を表する発言などもあり、2時間があったという間に過ぎました。またビキニ核被災国家賠償請求訴訟を支援する会への募金も6万5千円が寄せら

8・15戦争を語りつくつどい 開催

## 「決意を新たに」

田中正



今年も終戦記念日に上記の集いが、多くの市民（160人）の参加で開催されました。戦後七十一年の今年は、戦争や終戦を体験してきた「語り部」の方々が語ったことを聞いて、新たな「語り部」や若い「語り部」が増えてくれば、どの願いもこめて広く参加を呼びかけました。

資料館・草の家副館長の「歴史は鏡、過去から学ばざるものは過ちを繰り返す」とでした。岡村さんは、何回も中国本土へ行き、調査研究活動をされていますが、日本軍「731部隊」の誕生や活動、終戦前後の日本の動き、原爆投下後の研究者・政府の隠れた調査資料の存在、などから現在の「フクシマ」「原発」「安全保障」「憲法」「改悪」に続く一連の流れを詳しく分かりやすく講演されました。



野からそれぞれの取り組みを発表されました。「改悪」と軍靴の足音が、遠くから次第に近寄ってきていることを感じる今、力を合わせて、そのたくらみと動きを断固阻止して行こうと誓うつどいになりました。

また5つ目のテーマでは、橋本龍太郎政権時代から幾度も浮上してきた、普天間基地代替地として三原村の国有林への3000メートル級飛行場建設と宿毛湾を一体化させた沖繩ーリマ海域ー岩国を結ぶ軍事基地化の動きの問題も提起された。最後は身の回りにある平和と暮らしを見つめなおして、無理せずに行けることに足

「梨の会」による平和の詩の朗読がありました。小森香子さんの「そのとき」の「そのとき、きつと、子どもたちはきくでしょう、お母さんどうして、反対しなかったの」との一節などに心打たれました。記念講演は、岡村啓佐平和